

# 仕様書

## 1. 目的

高精度放射線治療システム（以下、「物品」という）が常に正常な状態で作動するように維持すること及びそのために必要な保守業務を円滑に実施することを目的とする。

## 2. 契約期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

但し、本件物品を更新する場合は、本保守契約の終了について発注者及び受注者で協議を行う。

## 3. 保守対象装置

(1) 高精度放射線治療装置	TrueBeam STx	1式
(2) 高精度放射線治療装置	TrueBeam	2式
(3) 放射線治療インフォメーションシステム	ARIA	1式
(4) 3次元放射線治療計画システム	ECLIPSE	10式
(5) 呼吸ゲーティングシステムRPM(CT用)		1式
(6) 高精度放射線治療装置	TrueBeam Edge	1式
(7) 3次元放射線治療計画システム	ECLIPSE	2式
(8) 呼吸ゲーティングシステムRGSC (CT用)		1式

設置場所：大阪府大阪市中心区大手前3丁目1番69号

地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター地下1階放射線腫瘍科

## 4. 保守業務

物品の機能を維持するため、次のとおり保守を行うものとする。

但し、装置、システム（ソフトウェア、ハードウェア）のアップグレード、オーバーホールは保守業務の対象外とする。

(1) 高精度放射線治療装置	TrueBeam STx	1式
(2) 高精度放射線治療装置	TrueBeam	2式
(6) 高精度放射線治療装置	TrueBeam Edge	1式

①保守点検

受注者は、年4回業務委託期間中の平日で当センターが指定する日に技術員を派遣して保守点検・整備を行うものとする。

②緊急修理

受注者は、保守点検とは別に装置に故障等が発生した場合、発注者の要請によりその都度、技術員を派遣し、緊急修理を行うものとする。

③部品代

保守点検及び緊急修理に必要とする全ての部品代及び作業費等は、受注者が負担するものとする。

④リモートサポート

受注者は通信回線により遠隔操作による装置の保守を行うものとする。

(3) 放射線治療インフォメーションシステム ARIA 1式

①保守点検

受注者は、年2回業務委託期間中の平日で当センターが指定する日に技術員を派遣して保守点検・整備を行うものとする。

②緊急修理

受注者は、保守点検とは別に装置に故障等が発生した場合、発注者の要請によりその都度、技術員を派遣し、緊急修理を行うものとする。

③部品代

保守点検及び緊急修理に必要とする全ての部品代及び作業費等は、受注者が負担するものとする。

④リモートサポート

受注者は通信回線により遠隔操作による装置の保守を行うものとする。

(4) 3次元放射線治療計画システム ECLIPSE 10式

(7) 3次元放射線治療計画システム ECLIPSE 2式

①保守点検

受注者は、年2回業務委託期間中の平日で当センターが指定する日に技術員を派遣して保守点検・整備を行うものとする。

## ②緊急修理

受注者は、保守点検とは別に装置に故障等が発生した場合、発注者の要請によりその都度、技術員を派遣し、緊急修理を行うものとする。

## ③部品代

保守点検及び緊急修理に必要とする全ての部品代及び作業費等は、受注者が負担するものとする。

## ④リモートサポート

受注者は通信回線により遠隔操作による装置の保守を行うものとする。

### (5) 呼吸ゲーティングシステムRPM(CT用) 1式

## ①緊急修理

受注者は、装置に故障等が発生した場合、発注者の要請によりその都度、技術員を派遣し、緊急修理を行うものとする。

## ②部品代

緊急修理に必要とする全ての部品代及び作業費等は、受注者が負担するものとする。

### (8) 呼吸ゲーティングシステムRGSC (CT用) 1式

## ①緊急修理

受注者は、装置に故障等が発生した場合、発注者の要請によりその都度、技術員を派遣し、緊急修理を行うものとする。

## ②部品代

緊急修理に必要とする全ての部品代及び作業費等は、受注者が負担するものとする

## 5. 報告書の提出と検査

受注者は、4の保守業務の完了後、速やかに報告書を発注者に提出するものとする。  
また、契約期間中に保守費用の効果検証及び契約終了後の保守の必要性等を含む分析評価を行うものとする。

## 6. 確認書の提出

受注者は、契約締結にあたり部品供給を行う装置メーカーとの間で、当仕様書の内容を記

載した確認書を交わし発注者に提出するものとする。

## 7. 損害賠償

(1) 4の保守業務の実施にあたり、受注者の故意または過失により発注者の建物、設備等を滅失または毀損した場合、受注者はこれを原状に復し、又は、原状回復に代えて損害を賠償しなければならない。

(2) 4の保守業務の実施にあたり、受注者の故意または過失により保守対象外の発注者の装置、データ、プログラム等を損傷または滅失した場合、受注者はこれを原状に復し、又は、原状回復に代えて損害を賠償しなければならない。

(3) 受注者の責に帰すべき事由により、4の保守業務の一部または全部を行うことが出来ず、発注者に損害が生じた場合には、発注者は損害金の支払いを受注者に請求することができる。

## 8. 個人情報の保護

受注者及び本件業務に従事している者または従事していた者は、業務上知り得た個人情報を第三者に漏らし、又は、他の目的に利用してはならない。

## 9. セキュリティ

メンテナンス時にファームウェアのアップデートが可能な場合は行い、医療情報部へ詳細情報を報告すること。